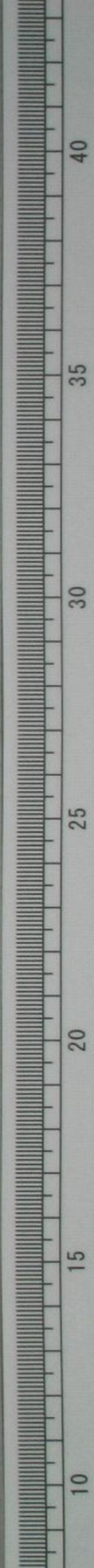
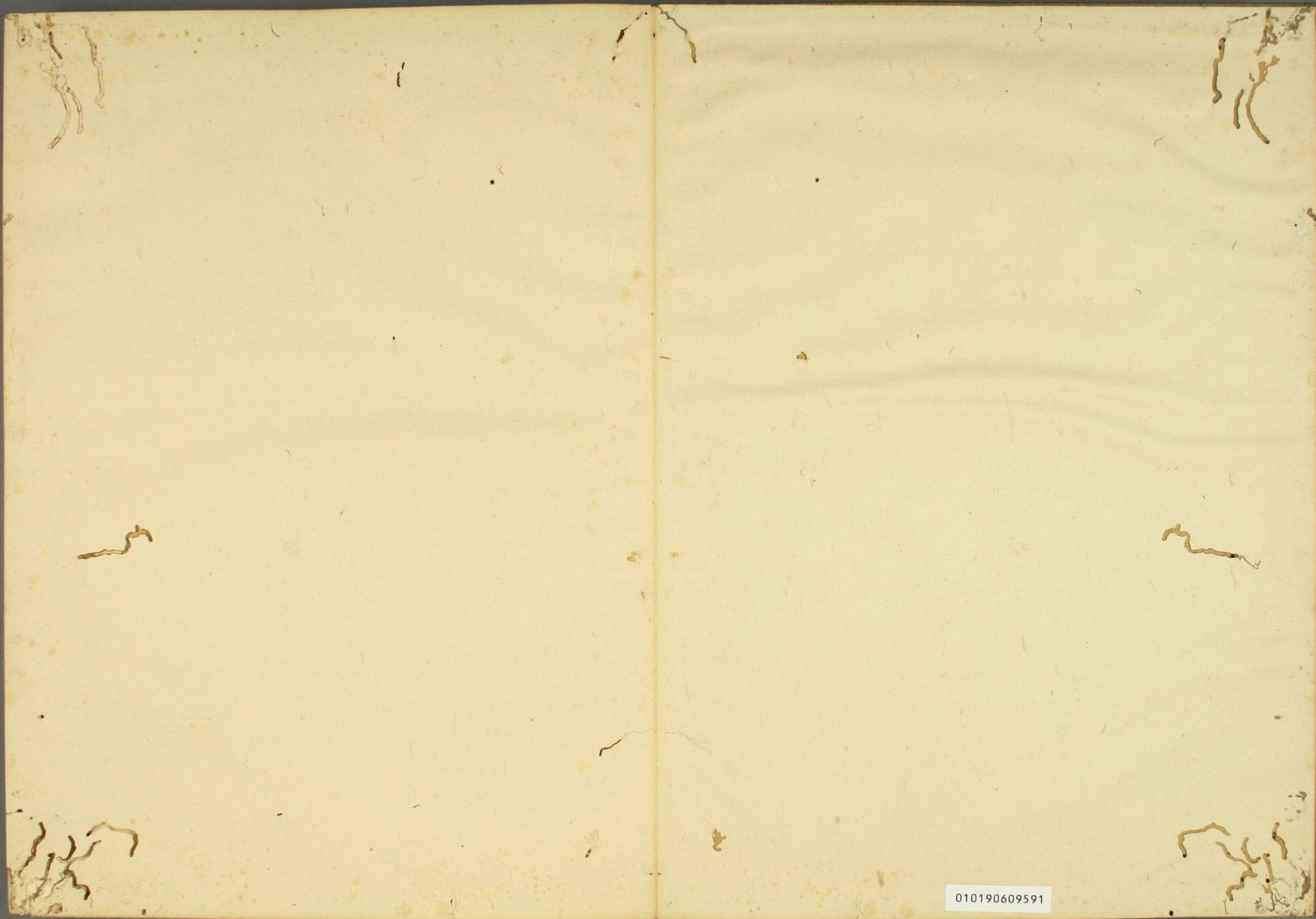




石齋先生手寫手鑑類

津田文庫
文庫 1
1743





010190609591



好む物は 一々しやけ

野々

海原の月夜

やまはらにけふもいれおのち

河原左衛門守右衛門君

えらぬの志のふらふらわされけり
これんおのちいれおのち

いれおのち

後醍醐天皇
ウタヒコワカ
イマカ

後醍醐天皇宸翰哥切 新古今集 羈旅之部

いつかまは

うたひ

あふおのちいれおのち
いれおのちいれおのち

鴨山

うたひいれおのち
いれおのちいれおのち

つた文庫

院門御土後

Handwritten notes in cursive script, likely related to the adjacent text.

皇天酬醒後

Handwritten notes in cursive script, likely related to the adjacent text.

院融圓後

Handwritten notes in cursive script, likely related to the adjacent text.

恒明親王

Handwritten notes in cursive script, likely related to the adjacent text.

Handwritten notes in cursive script, likely related to the adjacent text.

緣甚深哀苦而生如感應妙中
從時長者子下

二計獨力難弁又四初見已覓水不得二復望下析

形骸日變衰醉卧黃公肆人知我
是誰

旦と視紫乃方字書見下央再志任痛毛者便三
あやうきつくつく乃う成いてみけ
をまじわゆるくともすつるこ

之 皆 此 也

之无質尋印度之真文遠涉恒河終期

信記
フシシ

不退法輪其諸比丘比丘尼優婆塞優婆夷
天龍夜叉乾闥婆阿修羅迦樓羅緊那羅摩
睺羅伽大轉輪王小轉輪王銀輪鐵輪諸輪
之王國王王子國臣國民國士國女國大長

藤原道隆

あふれこの月にしるをさくはめ
うきよにたごの川をわくわく
かすし首をめぐら

もつんを母人のなまられとせぬ
よみてこのうやあつまわがくありを
しつこのおとこ
むくたむてあれしつやのれし
かつもおよのそくまわけ
よそをんじつたわけ
このちんまもかひろんじつをれ
うらよみておらがひろうじつをれ
あれしつこつまあ

後

まろわなまふしをあらけたる
るなわ志の縁きまみる

参議兼兵部卿正信下橋朝臣奈良磨天平

勝寶八年二月五日うけりて傳法舎

寺にたこたふその縁赴らけりて

よりし崇福寺はけりて

こまらふらんからかきうなり

臣朝頼俊

和のしのみ
いし
あ
わ

卿礼之衛對断實彌尖弥華没屈申解
佛邪躬羸曉養髮鬚鐵橐頤骸冢

五

長年 庚申 比おとす

庚申

年長毎勞推甲子夜寒初共守唐

許

己酉年終冬日少庚申夜半曉光輝

光

おとすのころるじよたふすおとす

あつたはまたついでにこよす

このあつたはついでに

あつたはついでに

あつたは

このあつたはついでに

あつたはついでに

あつたはついでに

あつたはついでに

是法随缘滅

是大聲聞執

可思議諸善功德若有人識是二菩薩名字
 者一切世間諸天人民二應禮拜佛說是妙
 莊嚴王本事品時八万四千人遠塵離垢於
 諸法中得法眼淨

多分此 佛匠

雪乃ふりけりよき

ふやふ

冬な〜る〜り〜れ〜ら
 いくさのあけ〜り〜あ〜る

口

まはれちるあつち
 ちりちりふりあふ

無名

しをりてき〜り〜の〜われ
 えれ〜に〜ら〜れ〜あ
 藤原れれ〜り〜り〜り
 まら〜り〜り〜り〜り
 け〜り〜り〜り〜り
 か〜り〜り〜り〜り

千々子寸めいよ、しほみほもるりけや
みよふたつししんてわよ

同白前乃木月、まうちまきみと糸あま
わたりをしめわけとよいとのあひ
ちうつらまやうと、あしんを今よみ
わけよ

藤原紀永朝

ことしだまかみとまゆりけみほか
ちうつらまやうと、あしんを今よみ
わけよ
後信朝、丹は守まてわけつたかのと

藤原興同

あつたまてたつたふととと、さうとあけ免
ちふたつらまやうと、あしんを今よみ
わけよ

題名知

紀友則

しきたつれまらうとの志すまうみはあ
社とひとまみらあはたれはみえあうける

あやめくあやうにきくねうた
かこのまゝそそちれまよまこのま
務うういかにうん一これこ
まこあむうよこまけくつらき
けらをとれれあれにちち
こいひやそとさけらをあら
かえはるあこまのれのこま
こつえん一たりこれか
えらばをええちれなまはうに
こうおあらむはつてこあら道

右のまふあうり
あうりしあうり
おりえちおのしとる一お
まま一おのらのあうり
とうかまうりしと

書

左

仲正

あやめくあやうにきくねうた
かこのまゝそそちれまよまこのま

通具御

早二番

左

えつかふもあなてけりかか
あこつちありたさてれな
きしそがやうき

久我通具御

あひれきさうじふ

かろいれむるん

いさよ月を

うさし

若存者も忠にて後存者も

祝部成仲

あひとれいしゆゆのまにのふ草
すまひけりゆうてわしし

歌石

前信正慈南

ふまのこれのあしをけり
いふこきとてやうし

あけけり

あけけりういれきさうじふ
いふこきとてやうし

二

なつてはまて志んふりきあれ
なつてはまて志んふりきあれ

所説如上事収取家中可食之物置於魚上
 疾還父所至彼池邊是時流水見其子來身
 心喜躍遂取餅食遍散池中魚得食已悉皆

故逸財損家業財物散失僮僕逃逝而无所
 依時彼老母心懷憂惱遂得重病即便終没
 其子貧窮无所恃怙遂投山谷拾薪採菓貨
 鬻自給彼時遇雪入石窟中蕉自蟄息然此
 窟中是昔國王藏其七寶所无能知者經數

大炊清心右大臣

大川霧やをききしひるあつ月れ
 か祿のをとら我はほのきこゆるれ

堀河院出内百をうくまふり
 守るときよの終る

希津納を正房

高砂此れ乃を造れつ祿のをとすまひ
 曉のけこくまやわくし

安倍女郎一首二首

今更何乎可將念打靡情者君尔縁余
之物乎

いまそこのたにたのよのつみりもむうしれお
けいんをまうたよわりのもの

吾背子彼物算念事之有者火尔毛出
尔母吾莫七回

わのせうはまのれおひうもあたる
しりもそこのれわれもれ

活字左伝

らゆよ

きくにちれき

とらふちよよの

あそむけあはるの

ちりちりちりちりちりちりちりちり

みーのちまのちりちりちり

是則

右持

躬恒

さしせこころいつそつひとのきりく足ぬのちこ
せしおとつろつろをいつていぬ

右

うちうしひのゆきもわあるしんせころをれと
かなし足すはや足ぬつらぬれ

左指

豊

いしやすくゆられさわも里さうのよは、な
ちろのこせぬまみもた

右

躬恒

七いふさうつらぬれはかきしん
七いふさうつらぬれはかきしん
かきぬのきちるらん

いれぬりーとてちろろ

左

躬恒

あつせこころはかきぬとむわあゆらつと
きぬのあつせとむをすもを

右

ちろこれをおきしんかきぬとむわあゆらつと
いふはよももんかひなるぬれ

栗春女首

左持

豊

足すかつろ、縁あはれとせころをれせ
るあつりこつろわからぬ

右

頼基

或友則

土の、かきぬとむわあゆらつと
よ、かきぬとむわあゆらつと

大納言師賢御

月夜の光
 世に
 あり
 けり
 こと
 なる
 こと
 なる
 こと
 なる

堀江治部齋

せん
 せん
 せん
 せん
 せん
 せん
 せん
 せん

ふるもれ中宿松のくさくさぬれと
ひらあきん松のくさくさ

まえいもゆいれみらふらぬなり
いんやうにやまふまといん

ひらに乃うてはつ孫てまふら
くたひいこといれさうけり

くらひあうさふまえのひらま
孫のひら松をうやまきん

自天託取葩稀矣
か野望者露冷光

さあさきんさうひしや井と
あことわらけのひら

あやうあさきんさうひしや井と
あことわらけのひら

踏非山水誰堪赴
跡任輒坤豈得壽

さうさきいりあさきんさうひしや
ららさうさうせうらうた

州氏維發自棠孰莫忘多年風月遊

生摩守忠度

清方
任まてま

う意極

佛方

19
我々もあひまじ
我々もあひまじ
我々もあひまじ

我有如是七寶大車其數無量應當等心各
各與之不宜差別所以者何以我此物周給
一國猶尚不遺何況諸子是時諸子各乘大

地
タイレヤグ
ウスツ

タイレヤグ

一心除亂攝念山林億千萬歲以求佛道
或見菩薩餽饍飲食百種湯藥施佛及僧

次大慧菩薩右書半拏羅婆四你觀音母也
菩薩身白色相著妙寶衣七寶環釧頭冠瓔
珞具莊嚴身右手把寶左手仰左膝上施之
無畏坐蓮花座
以佛毫相菩薩後書摩莫計金剛母也身靚

說斯經時無有怯弱菩薩有時入於靜室
以正憶念隨義觀法從禪定起為諸國王
王子臣民婆羅門等開化演暢說斯經典

或作他字
有人字
佛法中說是經典功德成就當得作佛得大
勢於意云何今時常不輕菩薩豈異人乎則
我身是若我於宿世不受持讀誦此經為他
人說者不能疾得阿耨多羅三藐三菩提我
於先佛所受持讀誦此經為人說故疾得阿
耨多羅三藐三菩提得大勢彼時四眾比丘

未來所有人師子
已發諸佛大悲心
三世所有無比尊
於一切法皆平等
普見無量無邊界

周遍遊行於法界
彼饒益者行斯道
自然除滅愚癡暗
彼大力人行此道
一切諸有及諸趣

童女彌多羅尼第十 一頂之

土相是自在起用天尋叔名

納受聖藏名曰童女法名波若莊嚴法門也恭

敬心者終末之念也好樂亦法之法也或所順中

大示其名搖勾求諸已下名曰別也或其別中初兩

明護小示心次觀法二句明護煩惱心至三世畢七句

明依心起句就其句中三世一勾拜了一勾決定一勾

住无一此句四句明依心生拜次不遠一勾決定一勾

住如一勾此三句明依拜興句滅一切妄想寸者皆

是住如之美

Handwritten text on a rectangular piece of aged paper, oriented vertically. The text is written in a cursive script and includes the word "Darius" at the top. Other legible words include "Macedonia", "King", "of", "Macedonia", "and", "Greece", "was", "defeated", "by", "Alexander", "the", "Great".

Handwritten text on a rectangular piece of aged paper, oriented vertically. The text is written in a cursive script and includes the word "Darius" at the top. Other legible words include "Macedonia", "King", "of", "Macedonia", "and", "Greece", "was", "defeated", "by", "Alexander", "the", "Great".

井太藥 越後國頸城郡居多神社傳方元

者大穴持命神方祝子大神保公等家

傳之方也 小腹滿小便澁里月水猥

利乃者仁與天効阿利

於徐之乃祿 邇賀波

乎止乎止之

各三

小三輪藥 大味國吉埜郡大名持神社傳

方大穴持命神劑也 臍下痛月水澁

里苦者二與之酒仁天用為天効阿里

毛二乃味三 於保之乃根三

阿久太元之五

大同類聚方卷之一終

伊母藥 淡路國津名郡淡路伊佐奈伎神

社傳方多賀之祝等之家方也六無

雙之良劑精氣辛益氣血辛養不大人

毛日二用字禮婆長命辛保川之方也

以万乃以三 加二美三

也波羅以差三 比豆女三

比女波岐二 佐祢可豆羅二

民匠九樂二 波自加氏二

可我民藥 讀岐國香川郡田蛭神社傳方
元者 椽田彦命神方同國傘木山仁天
讀岐臣網持仁授計給大人小兒萬病
瘰癧字治寸神劑奈里水煎用字

美以羅五

徐止豆良五

美以萬乃藥 紀伊國牟婁郡熊野早玉神
社神傳又越後國蒲原郡伊夜日古神
社傳留毛同方元者以日子名命神方
兩社祝子等家傳流方也 臍噎一切
大人小兒用字倍之

阿保比流

五分程

以怒延

五分程

先大蒜字刺美酒仁天煮之酒半減出
蘇字肉仁煮仁汁字盡佐之女天貯
三日字過天用為天與志

大同類聚方卷之二終

同藥異名之部

伊波具美

伊波古介

宇之久美

太知万知具左

保止豆良

支自加以志

加良江
加良可之波

也末不木
也万布木

伊字須支
夜末胡保育

三良乃祢久佐
比木乃比太以

乃字流支
比々良木

爾波久左
末木久左

波万須加奈
波末二賀南

日向藥
又高十穗藥
大伴宿禰家守家傳
者奏之患氣之者乃總劑也

根奈之
與路北久左

美天久良
万都甫度

木波堂

合之為抹納壺埋土
度半年出之以
薯蕷煉之
天陰乾
二之粉
登奈之日々
取之寸

婦人諸病
九十二

諸侯珍藏大同方之跋

右延長三年心寫本以寫早
此筆者左大臣家之臣
久求之書也

寬仁三年己未三月五日
賴實記

光悦

乃
心
あ
心
心
心
心
心

光悦

乃
心
あ
心
心
心
心
心

藤原道隆

去九思之

明方自向守光秀之

國分之合然

蘇堂其序物然

比播利之

之平自事之今方

地者時

之序言

誠大

之序言

祇

三月

下

心

心

手信

おはようございます

おかげさまで

おかげさまで

おかげさまで

おかげさまで

おかげさまで

おかげさまで

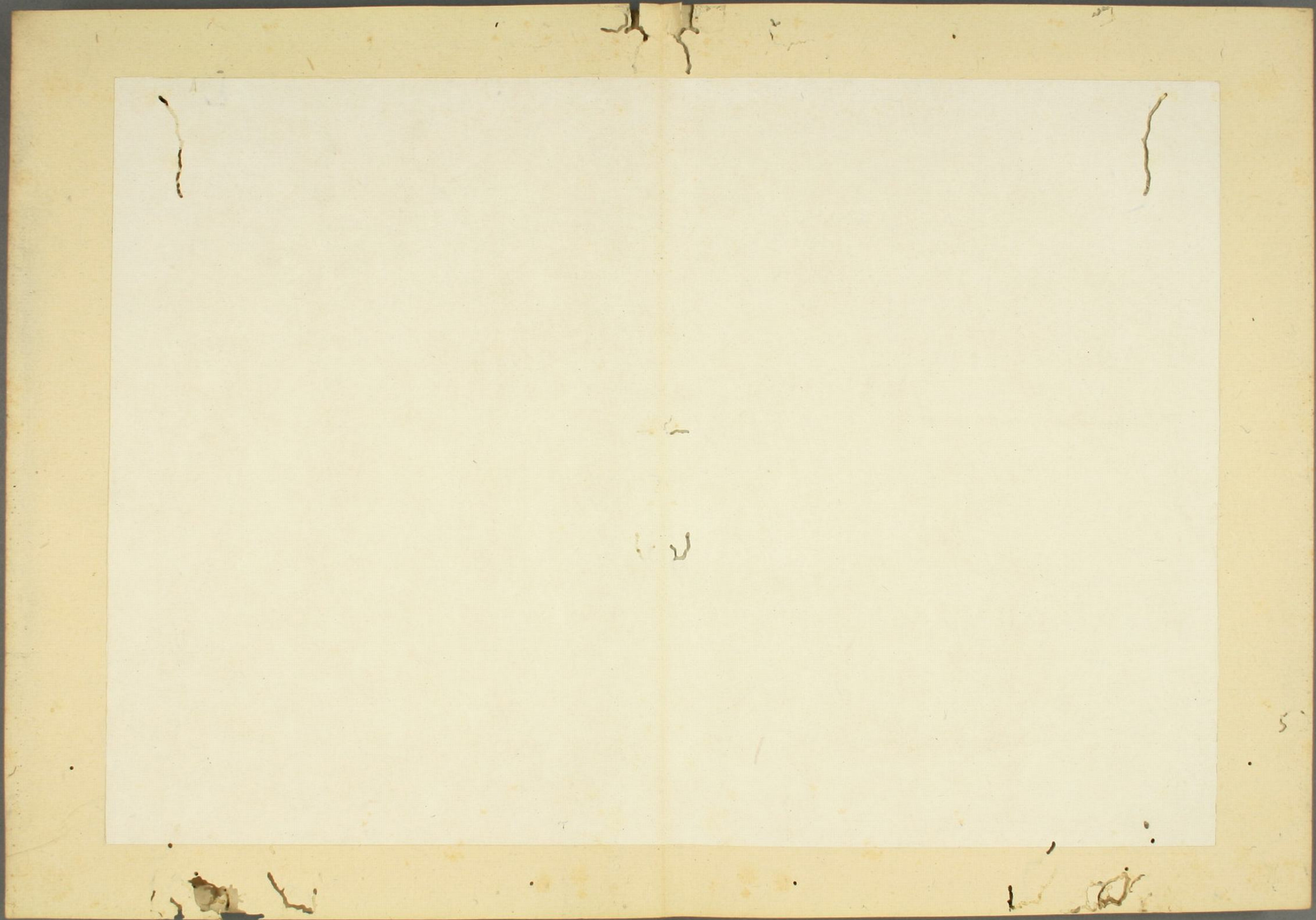
おかげさまで

おかげさまで

おかげさまで

おかげさまで

おかげさまで



3

3

س
٥

٥

